

パネルディスカッション

ソルベンシー II と保険会社の ERM

パネリスト： 金融庁
ソニー生命保険株式会社
東京海上ホールディングス株式会社
明治大学理工学部
植村 信保 氏
花津谷 徹 氏
玉村 勝彦 氏
松山 直樹 氏
モデレーター：キャピタスコンサルティング株式会社 代表取締役 森本 祐司 氏

【司会】 お待たせいたしました。それでは、本日最後のセッションでございますパネルディスカッション、テーマは「ソルベンシー II と保険会社の ERM」ということでございます。簡単に、ご所属とお名前だけご紹介させていただきます。パネリストの方、向かって右側から、金融庁監督局保険セクター分析担当補佐の植村信保様でございます。そのお隣がソニー生命保険株式会社、花津谷徹様でございます。その左側でございますが、東京海上ホールディングス株式会社、玉村勝彦様でございます。一番左手の方が、明治大学理工学部、松山直樹様でございます。あと、このパネルディスカッションの進行をお願いしております、モデレーターのキャピタスコンサルティング株式会社の森本祐司様でございます。では、森本様、よろしく申し上げます。

【森本】 キャピタスコンサルティングの森本と申します。皆様、長時間お疲れさまでした。時間を少しまたいだ形で延べ六つのプレゼンテーションをお聞きいただいたわけですが、これから、その内容も踏まえた形でパネルディスカッションを進めさ

せていただければと思っております。ただ、前回のプレゼンテーションから時間があいてしまったことでもありますので、私から、駆け足に、まず、皆さんがどのようなことを言ったのかということを紹介させていただきます。紹介させていただきます。



白川講演の要旨

国際的な規制・会計動向と金融機関ERMへの影響

- I. 国際的な動き
 1. 保険負債の時価会計に向けた動き
 2. 欧州ソルベンシー II の動向
 3. ソルベンシー II の同等性評価
 4. IAISIによるコムフレーム策定
- II. 我が国の対応
 5. 国際会計基準への対応
 6. ソルベンシー規制の短期的見直し
 7. 連結財務健全性基準の導入
 8. フィールドテストの実施
 9. 保険検査マニュアルの改定とERM
- III. 今後の課題
 10. 経済価値ベースの枠組み作りに向けて

まず、3月11日、この日いらっしゃれなかった方で、本日いらっしゃっている方もいるかもしれませんが、最初に金融庁の監督局保険課長の白川様からご講演をいただきました。「国際的な規制・会計動向と金融機関ERMの影響」というところで、国際的な動きの中で時価会計、すなわちIFRSの話、それからソルベンシー II の動向と、そこで特に日本